

新得の埋蔵文化財



新得山・岩松などから出土した石斧類

埋蔵文化財包蔵地一覧

番号	種 別	名 称	所 在 地	所有者	備 考
1	遺物包含地	パンケ遺跡	字上佐幌東 1 線 123 - 2、 東 2 線 124	民有地	縄文時代。面積約 2,000 m ² 。 石器出土。昭和 40 年 8 月 明石博志調査。昭和 56 年 5 月一般分布調査（北海道 教育委員会）
2	遺物包含地	屈足 A 遺跡	字屈足西 1 線 88 - 1、3	民有地	縄文時代中期。面積約 10,000 m ² 。元水田。昭和 49 年畑地に転用。昭和 56 年 5 月一般分布調査（北海 道教育委員会）
3	遺物包含地	蓬田遺跡	字新内東 6 線 146 - 4、 144 - 1	民有地	縄文時代中・後期。面積約 10,000 m ² 。黒曜石片出土。 昭和 41 年 11 月明石博志調 査。昭和 56 年 5 月一般分 布調査（北海道教育委員 会）
4	遺物包含地	屈足 B 遺跡	字屈足西 2 線 67 - 2 ほか	民有地	縄文時代中・晩期。面積約 15,000 m ² 。昭和 40 年 8 月 明石博志調査。昭和 56 年 5 月一般分布調査（北海道 教育委員会）。昭和 58 年 10 月北海道教育委員会範 囲確認調査。屈足地区道営 明渠排水事業に伴い、昭和 63 年 7 月に発掘調査。土 器小片 198 点、黒曜石等の 石器 28 点出土。
5	遺物包含地	屈足 C 遺跡	字上佐幌 785 - 31	新得町	縄文時代。面積約 500 m ² 。 昭和 56 年 5 月一般分布調 査（北海道教育委員会）
6	遺物包含地	ニコロ沢遺跡	字屈足基線 226 - 1～3、 228 - 1・3	民有地	縄文時代。面積約 6,000 m ² 。 ペンケニコロ川左岸段丘 に位置。昭和 44 年 7 月明 石博志調査。昭和 56 年 5 月一般分布調査（北海道教 育委員会）。
7	遺物包含地	屈足 D 遺跡	字屈足 2 基線 3 - 3	民有地	縄文時代晩期。面積約

8	遺物包含地	屈足E遺跡	屈足旭町東2丁目2	町有地	15,000 m ² 。昭和44年7月明石博志調査。昭和56年5月一般分布調査(北海道教育委員会)。 縄文時代晩期。面積約5,000 m ² 。昭和44年7月明石博志調査。昭和52年9月屈足公園整備工事に伴う所在確認調査(北海道教育委員会)。昭和56年5月一般分布調査(北海道教育委員会)。
9	遺物包含地	屈足F遺跡	字屈足東1線43-1・5	民有地	縄文時代前・中・晩期。面積約50,000 m ² 。縄文系遺物が主。昭和56年5月一般分布調査(北海道教育委員会)。
10	遺物包含地	上佐幌遺跡	字上佐幌618-2	民有地	縄文時代。面積約1,000 m ² 。昭和56年5月一般分布調査(北海道教育委員会)。
11	遺物包含地	広内遺跡	字新得西3線50-2・3、52-2・4	民有地	中新得川右岸台地上にあり、面積約36,000 m ² 。昭和56年5月一般分布調査(北海道教育委員会)。
12	チャシ跡	新内チャシ跡	ビタラウシ川河川敷	北海道	アイヌ期。臨川式1条塚。ビタラウシ川に臨む。昭和56年5月一般分布調査(北海道教育委員会)。
13	遺物包含地	屈足G遺跡	字屈足西1線87番地1	民有地	十勝川右岸段丘上に所在。フレイクが出土。昭和58年10月所在確認調査(北海道教育委員会)。
14	遺物包含地	屈足H遺跡	字屈足西1線75番地4	民有地	十勝川右岸段丘上に所在。フレイクが出土。昭和58年10月所在確認調査(北海道教育委員会)。
15	遺物包含地	屈足9遺跡	字屈足東2線40-1	民有地	縄文時代前期・晩期。十勝川左岸段丘上、小沢の南に位置。土器片(宮本式?)、フレイク出土。平成9年8

1 6	遺物包含地	屈足 1 0 遺跡	字屈足東 2 線 40 - 4	民有地	月国営農地再編整備事業に伴い、所在確認調査（北海道教育委員会）のうえ埋蔵文化財包蔵地として登載。平成 10 年 5 月国営農地再編整備事業に伴い、範囲確認調査（北海道教育委員会）。縄文時代。十勝川左岸段丘上、小沢の北に位置。土器、石槍、フレイク出土。平成 9 年 8 月国営農地再編整備事業に伴い、所在確認調査（北海道教育委員会）のうえ埋蔵文化財包蔵地として登載。平成 10 年 5 月国営農地再編整備事業に伴い、範囲確認調査（北海道教育委員会）。
1 7	遺物包含地	屈足 1 1 遺跡	字屈足東 1 線 69 - 1 ほか	民有地	縄文時代晩期。十勝川右岸段丘上に所在。土器片（幣舞式）出土。平成 9 年 8 月国営農地再編整備事業に伴い、所在確認調査（北海道教育委員会）のうえ埋蔵文化財包蔵地として登載。平成 10 年 5 月国営農地再編整備事業に伴い、範囲確認調査（北海道教育委員会）。平成 11 年 6 月～8 月新得町教育委員会が発掘調査し、土器 1,368 点、石器等 2,928 点出土。遺構は検出されていない。
1 8	遺物包含地	屈足 1 2 遺跡	字屈足東 1 線 19 - 12	民有地	縄文時代後期。十勝川右岸の高位段丘の縁辺に所在。土器片（北筒Ⅲ式）、フレイク出土。平成 9 年 8 月国営農地再編整備事業に伴い、所在確認調査（北海道

1 9	遺物包含地	下新内 1 遺跡	字新内 634 - 3	民有地	教育委員会) のうへ埋蔵文化財包蔵地として登載。平成 10 年 5 月及び同年 10 月国営農地再編整備事業に伴い、範囲確認調査(北海道教育委員会)。平成 11 年 5 月～6 月新得町教育委員会が発掘調査し、土器 669 点、石器等 100 点出土。遺構は検出されていない。縄文時代。佐幌川に臨む段丘上、下新内川の合流点の南に位置。薄手土器片出土。平成 10 年 10 月とかち高原の里工事に伴い、所在確認調査(北海道教育委員会) のうへ埋蔵文化財包蔵地として登載。
2 0	遺物包含地	下新内 2 遺跡	字新内 175	民有地	縄文時代。佐幌川支流の下新内川左岸に位置。黒曜石チップ出土。平成 10 年 5 月とかち高原の里工事に伴い、所在確認調査(北海道教育委員会) のうへ埋蔵文化財包蔵地として登載。
2 1	遺物包含地	佐幌 1 遺跡	字下佐幌西 3 線 128 - 1	民有地	縄文時代。佐幌川と上佐幌川の合流点の北側台地上に所在。フレイクが出土。清水町の下佐幌北栄遺跡と接続する可能性あり。平成 10 年 5 月国営草地再編整備事業に伴い、所在確認調査(北海道教育委員会) のうへ埋蔵文化財包蔵地として登載。
2 2	遺物包含地	佐幌 2 遺跡	字上佐幌西 2 線 7 - 15	民有地	縄文時代。上佐幌川右岸段丘上に所在。フレイクが出土。平成 10 年 10 月国営草地再編整備事業に伴い、所在確認調査(北海道教育委

2 3	遺物包含地	佐幌3遺跡	字上佐幌西1線14-4	民有地	員会)のうえ埋蔵文化財包蔵地として登載。 縄文時代。上佐幌川右岸段丘上に所在。フレイク出土。平成10年10月国営草地再編整備事業に伴い、所在確認調査(北海道教育委員会)のうえ埋蔵文化財包蔵地として登載。
2 4	遺物包含地	佐幌4遺跡	字上佐幌西1線13-2	民有地	縄文時代中期。上佐幌川左岸段丘上に所在。コア出土。平成10年10月国営草地再編整備事業に伴い、所在確認調査(北海道教育委員会)のうえ埋蔵文化財包蔵地として登載。
2 5	遺物包含地	屈足13遺跡	字屈足東1線54-2・3	民有地	縄文時代。十勝川右岸段丘上に所在。土器片1点出土。平成13年9月試掘調査(砂利採取)新発見・保存(北海道教育委員会)。平成14年3月埋蔵文化財包蔵地の周知資料の整備(北海道教育委員会)。
2 6	遺物包含地	屈足14遺跡	字屈足東1線1-1 地先河川敷	国有地	縄文時代晩期。十勝川右岸低位段丘上に所在。南北30m×東西50mの規模。南側に広がる可能性もあり。土器片、黒曜石剥片出土。平成18年8月所在調査(北海道教育委員会)。平成18年9月試掘調査(北海道教育委員会)。同年9月29日埋蔵包蔵地として登載。
2 7	遺物包含地	屈足15遺跡	字屈足東1線1-1	民有地	縄文時代中・晩期。十勝川右岸低位段丘上に所在。段丘崖下の沢部で土器片出土。平成18年8月所在調査(北海道教育委員会)。平成18年9月試掘調査(北

28	遺物包含地	上佐幌2遺跡	字上佐幌東1線742-1、743-2	民有地	北海道教育委員会)。同年9月埋蔵包蔵地として登載。縄文時代。佐幌川及びパンケニコロベツ川間の丘陵上に所在。黒曜石片出土。農道整備事業に伴い、平成18年5月所在調査（北海道教育委員会）。平成18年10月試掘調査（北海道教育委員会）。平成20年3月埋蔵包蔵地として登載。
29	遺物包含地	下佐幌遺跡	字下佐幌西4線121-1	民有地	縄文時代晩期。上佐幌川の低い段丘に所在。土器片、黒曜石剥片出土。3000年前の樽前山噴火の火山灰直下に遺物包含層確認。林地開発事業に伴い、平成20年4月所在調査（北海道教育委員会）のうえ埋蔵文化財包蔵地として登載
30	遺物包含地	屈足16遺跡	字屈足東1線35-1・7	民有地	縄文時代。十勝川右岸段丘に所在。土器片、石槍、石器剥片出土。道営畑総事業に伴い、平成20年11月所在調査（北海道教育委員会）。平成21年4月試掘調査（北海道教育委員会）。平成22年1月埋蔵文化財包蔵地として登載。

縄文時代区分（概説松前の歴史より）

早期・前期	約6,000年前
中期	約4,000年前
後期	約3,000年前
晩期	約2,500年前